

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表:令和 2 年 5 月 15 日

事業所名 7th Sense

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		部屋の大きさに違いをもたせ、支援内容や状況に応じて選択しています。	部屋の固定化がおきないよう、定期的に見直し対応していきます。
	2 職員の配置数は適切である	○			現段階では適切であると思うが、より効果的な支援を行うためにも、人数のみならず、個性や専門性、得意なことなどに加え、間の取り方なども踏まえ、今後も配置について考えていきます。 常勤スタッフ(児童指導員、指導員)を2人補充し、支援体制を補強しました。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		段差がまったくない状態にしています。	今後も配慮に努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		お子さんにより、教材の置き方(目隠しなど)を工夫しています。	今後も日々の清掃はもちろんであるが、抗菌、換気等の配慮をしていきます。 またレッスンに楽しくとりくめるよう(注意が散漫にならないよう)、部屋(空間)づくりに工夫を加えていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		週に1度、会議・カンファレンスをして情報交換をしています。	全体会議の他、常勤スタッフによるPDCAの見直しも実施し、それを全体で共有し、更に深めていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			前回の評価結果を参考に行いました。引き続き継続してまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内での掲示、ホームページにより公表を行っております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後の課題と考えております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修の周知、週1回の会議内での内部研修をじっししています。	外部研修についての情報発信、内部研修の機会を増やす、会議内のプチ研修を増やす等、さらに情報共有・資質の向上に努めて参ります。
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		入所前にアセスメントシートを書いていたこと、提供いただいた発達検査、子ども、保護者のご意見を基に作成しております。	面談等で得た情報を常に更新をしていき、支援に活用してまいります。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		現在使用しているアセスメントツールはありますが、標準化はされておられません。しかしながら、データを積み上げて信頼性と妥当性を高めていき、支援に役立てていけるように努めてまいります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者との連携を密にとり、必要な支援を行えるように計画を作成しております。	地域支援に関しては不十分な点がございまして、今後適切な支援を行えるように計画を作成してまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に記載された内容に沿った支援を行っております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数の担当の指導員より情報共有を行い、指導員全員で内容を検討しております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの様子を観察して、発達段階や興味・特性に合った支援を行っております。	今後はさらに系統だったプログラムができるよう、研修等に力を入れていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		○		基本的に個別レッスンを行っているため、集団活動は他の施設等をお願いしております。今後はイベント的に小集団のレッスンも開催したいと考えております。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		開始前に気を付けるべき点や変更点等の情報共有を綿密に行っております。	今後も密に情報交換をしていく所存です。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		レッスン報告書提出時に児童発達支援管理責任者へ気になった点等を報告しております。	児童発達支援管理責任者は全指導員と情報共有できるよう工夫していきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回のレッスン後にレッスン報告書を作成し、会議でスタッフ全員で考え、よりよいレッスンをできるようにしております。	今後も誰がレッスンを担当しても支援できるよう詳細に記録していきます。またこれを活用し、支援の検証・改善策を具体的に考え、実施につなげていきます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的またはご相談をいただいた際も行い、見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要な応じて、積極的に連携を行っています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後、積極的に参加をしていきたいと考えております。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現在予定はございませんが、前向きに検討いたします。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		可能な限り積極的に参加をしております。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回のレッスン終了後、説明を行い、支援内容をお伝えしております。	今後はさらにきめ細かく保護者に状況説明(レッスン報告も含む)をしております。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		△	家庭で行える支援の方法をお伝えしております。	セミナー等の現在予定はございませんが、前向きに検討いたします。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っておりますが、質問には随時お答えしております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		面談にて内容を具体的にご説明し、本人・保護者のニーズに沿った支援計画の作成を行っております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		レッスン後の振り返りの時間に必要に応じて随時実施しております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		予定はしています。外部環境が整い次第開始いたします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		施錠したロッカーで個人情報を保管し、取扱いには十分に配慮しております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		現在実施しておりませんが、予定はしています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		施錠したロッカーで個人情報を保管し、取扱いには十分に配慮しております。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		レッスン中は子どもの発達に応じてコミュニケーションを取るように配慮しております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在予定はございませんが、前向きに検討いたします。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種マニュアルは作成し、職員には周知しているが保護者への周知は不十分ですので、今後配布していただけるように準備をして参ります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的実施しております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に保護者の方よりお話を伺い、スタッフ間で情報共有を行っております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—		アレルギーの有無は契約時に伺っておりますが、当施設では飲食物の提供は行っておりません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルを準備して、情報共有を行っております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的研修を実施しております。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		レッスンルームに防犯カメラを設置しております。	児童発達支援計画への記載は行っておりませんが、契約時にご説明を行っております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 7th Sense

保護者等数(児童数) 14 回収数 10 割合 71.4 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	9	1	0	0		子どもの様子・状況、支援内容と部屋の大きさを考え、できるだけ固定しないよう努めていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	10	0	0	0	先生間での子どもの発達の情報が、共有されていないのではないかと感じることもある。	会議、レッスン前後等を活用し、指導員間の情報共有を密にしていきます。 レッスン報告書、議事録等の確認を徹底します。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	0	0	0		バリアフリー化、防犯・虐待防止カメラの設置等、子どもたちが快適に安心して支援を受けられるよう努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	1	0	0		今後も日々の清掃はもちろんであるが、抗菌、換気等の配慮をしていきます。 またレッスンに楽しくとりくめるよう(注意が散漫にならないよう)、部屋(空間)づくりに工夫を加えていきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	9	1	0	0		実際のお子さんの様子、保護者の皆さんのお話、アセスメントなど、あらゆる角度から分析し、支援計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1	0	2		現在の児童支援計画はガイドラインに沿った内容となっております。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	1	0	1		実施しています。 本人・保護者からの要望や週1回のカンファレンスを通し、随時支援の確認および見直しを行っています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	6	1	0	2		今後も形骸化しないよう、その子のその時間を生きたレッスンとなるよう努めていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	1	5	3	・家が離れているので。 ・個別なので他の子との機会はないです。	特にそのような交流機会は設けていません。しかしながら今後ご要望がありましたら、検討していきたいと考えます。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	9	0	0	1		今後もていねいかつわかりやすい、簡潔な説明をしていきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	6	2	0	2		今後も懇談時に完結かつ丁寧に対応していきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	4	1	1	4		現在特に勉強会を開催してはいませんが、必要に応じて個別で対応させていただいております。 今後定期的に開催できるよう前向きに検討していきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	7	1	0	2		レッスン終了後に取り組んだこと を口頭と連絡帳で伝え合いをして います。 またSNSの活用や面談時に時間 をかけ共通理解ができるようにし ています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われている	6	2	0	2	毎回終わった後に少し 先生とお話できる時間 はあります。	今後もレッスン終了後、また定期 的に面談時間を確保し、具体的 な支援等の助言をしていきます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ている	1	0	3	6		今後、保護者会を開催していく予 定です。掲示物や会報誌、ホー ムページにてお知らせしていきま す。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や 申入れをした際に迅速かつ適切に対応され ている	9	0	0	1		出来るだけ迅速に対応させてい ただいております。相談対応につ いての体制等も周知徹底してま いります。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされている	9	1	0	0		送迎時の口頭でのやり取りと連 絡帳、LINEを活用しています。 必要に応じて、面談時にゆっく りとお話をするよう心がけており ます。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されている	4	1	1	4		ホームページや会報誌、掲示物 などを利用して積極的に実施し ていきたいと考えています。 ・自己評価の結果につきましては 自事業所での掲示とのホーム ページにて公表しています。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	10	0	0	0		個人ファイル等は鍵付き棚に保 管しています。また引き出しの氏 名記載は模様紙上に記載し、分 かりにくくしています。
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、保護者に 周知・説明されている。また、発生を想定し た訓練が実施されている	7	0	1	2	説明はありました。訓練 はわかりません。	マニュアルはファイルにし、契約 時にご説明させていただいてい ます。 緊急発生時を想定しての訓練は 今後実施していく予定です。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われている	3	0	1	6		訓練は年に1回しています。消防 の点検は随時実施しています(マ ンションの点検も含む)。 各マニュアルを策定し、ファイリ ングしています。定期的に保護者 の皆さまにご説明および配布し ていく予定です。 訓練時にレッスンが当たった場 合は、お手数ですがご協力をお 願いします。
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	9	1	0	0		今後も楽しく通ってもらえるよう努 力してまいります。
	23 事業所の支援に満足している	9	1	0	0		今後も真摯に、ていねいに支援 してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 5 月 15 日

事業所名 7th Sense

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		部屋の広さは2タイプあるので、発達段階や支援内容、状況により使い分けています。	部屋の使用が偏らないよう、配慮をしていきます。
	2 職員の配置数は適切である	○			現段階では適切であると思うが、より効果的な支援を行うためにも、人数のみならず、個性や専門性、得意なことなどに加え、間の取り方なども踏まえ、今後も配置について考えていきます。常勤スタッフ(児童指導員、指導員)を2人補充し、支援体制を補強しました。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		バリアフリー化しております。	今後も配慮していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		週1回の会議(カンファレンス)を実施しています。	週に1回の会議(カンファレンス)にて、スタッフ全員で見直しをして共有しています。今後はさらにスタッフ1人ひとりの意見がのべやすいような環境づくりに力を入れていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		会議において情報共有を行い、保護者等の意向の把握に努めています。	今回の実施にていただいた意見を参考に改善していく予定です。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに掲載しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後の課題と考えております。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修の周知、会議内でのこまめな研修を実施しています。	内部研修の機会を増やし、さらに情報共有・資質の向上に努めて参ります。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		通所に際し、アセスメントに記入していただくこと、面談等を通して計画作成しています。	保護者の皆さんから検査結果や学校における支援計画等の資料を頂戴したり、送迎時に保護者の皆さんから日常の様子等も伺い、それらを分析し、支援計画を作成しています。今後も分析力をあげ、より適切な支援計画の作成に努めてまいります。
10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		現在しようしているアセスメントツールはありますが、標準化されていません。しかしながら、データを積み上げ信頼性と妥当性を高めていく所存です。	
11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数の担当指導員より情報共有を行い、指導員全員で内容を検討しています。		
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童の様子を観察して、発達段階や興味・特性に合った支援を行っております。	今後はさらに系統だったプログラムができるよう、研修等に力を入れていきます。	
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	△			個別レッスンですので、大きな流れ、枠組みの中で行っていますので、原則平日、休暇等で変更はしていません。ですが、1人ひとり個別に対応していますので、常時きめ細やかに対応しているつもりですし、今後も注意深く見守りとレッスンをしていく所存です。	



適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している	○		基本的に個別レッスンをしているため、集団活動は他の施設等をお願いしております。今後はイベント的に小集団のレッスンも開催したいと考えております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	開始前に気を付けるべき点や変更点等の情報共有を綿密に行っております。	今後も密に情報交換をしていく所存です。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	レッスン報告書提出時に児童発達支援管理責任者へ気になった点等を報告しております。	児童発達支援管理責任者は全指導員と情報共有できるよう工夫していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	毎回のレッスン後にレッスン報告書を作成し、会議でスタッフ全員で考え、よりよいレッスンをできるようにしております。	今後も誰がレッスンを担当しても支援できるよう詳細に記録していきます。またこれを活用し、支援の検証・改善策を具体的に考え、実施につなげていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	定期的またはご相談をいただいた際も行い、見直しを行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○		地域交流に関しては現在は行っていませんが、個別レッスンにおいて個人のリソースを活かす術やコミュニケーション力をあげるなどの後方支援的な活動は行っています。今後、この点についてもっとどのような工夫が出来るか、検討していく所存です。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、可能な場合は児童指導員も参画しております。	今後はできるだけ、指導員および児発管の2人体制で参画できるような体制づくりをしていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて、積極的に連携(レッスン見学、授業参観後の話し合い等)を行っています。	今後はさらに積極的に連絡調整を実施してまいります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後、積極的に参加をしたいと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在予定はございませんが、前向きに検討いたします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		可能な限り積極的に参加をして参ります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回のレッスン終了後、説明を行い、支援内容をお伝えしております。	今後はさらにきめ細かく保護者に状況説明(レッスン報告も含む)をしてまいります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	家庭で行える支援の方法をお伝えしております。	セミナー等現在予定はございませんが、前向きに検討いたします。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っておりますが、質問には随時お答えしております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		レッスン送迎時、レッスン後の振り返りの時間に必要に応じて随時実施しております。	今後も丁寧な対応と随時相談対応等を行ってまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			予定はしています。外部環境が整い次第開始いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		必要に応じて、随時行っております。	今後も速やかにかつ迅速に対応してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		現在実施しておりませんが、予定はしています。
	35	個人情報に十分注意している	○		施錠したロッカーで個人情報を保管し、取扱いには十分に配慮しております。	

36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		レッスン中は子どもの発達に応じてコミュニケーションを取るよう配慮しております。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在予定はございませんが、前向きに検討いたします。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	△			各種マニュアルは作成し、職員には周知しているが保護者への周知は不十分ですので、今後配布していけるように準備をまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を実施しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	△		レッスンルームに防犯カメラを設置しております。	放課後等デイサービス計画への記載は行っておりませんが、契約時にご説明を行っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—		アレルギーの有無は契約時に伺っておりますが、当施設では飲食物の提供は行っておりません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルを準備して、情報共有を行っております。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2 年 5 月 15 日

事業所名 7th Sense 保護者等数(児童数) 55 回収数 36 割合 65.5 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34	2	0	0		部屋の大小を活かした療育支援を今後していきたいと考えています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	33	3	0	0	よくわかりません。	職員紹介カードを掲示したり、ネームカードにシールを貼付するなどわかりやすく示していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	31	4	0	1	車いすの使用でなければ、出入り口やろうかはせたくない。	ありがとうございます。今後も配慮してまいります。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	34	0	0	2	不明確なことはきちんと確認してくれる。	ありがとうございます。お子さんの状態状況の把握に努め、支援計画の変更あるいは付記していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	34	0	0	1	子どもの体調を見ながら毎回調整してもらえる。	ありがとうございます。今後もていねいに面談(モニタリング)等を行い、プログラムの固定化を防いでいきます。また、繰り返す必要がある場合、その意味合いをしっかりと説明していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	7	26	0	・わからない。 ・1対1なのでそのような機会はなし。	イベント活動等は現在特に計画はありませんが、要望等により考えていきます。
保護者	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36	0	0	0	必要時に受けている。	ありがとうございます。今後もていねいな説明を心がけていきます。また利用者さんに分かりやすい提示の工夫をしていきたいと考えています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36	0	0	0		今後も送迎時や面談(モニタリング)等でしっかりコミュニケーションを行い、共通理解を保てるよう努力してまいります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	35	1	0	0		今後も今まで以上にコンスタントに面談をもっていきたいと考えています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	8	20	2	今のままで満足。	今年度は保護者座談会および保護者セミナー等を開催したいと考えています。どなたにでもわかるように、掲示だけでなく会報誌を発行し広報活動を充実していく予定です。

への説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	8	0	0	そのようなことがあったか、よくわかりません。	苦情対応の体系はつくっています。保護者から苦情があった場合は速やかに対応していきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	0	0	0		今後も子どもとのいそつうはレッスン時に子どもの表情や姿勢等をよく観ること、保護者との意思疎通や情報伝達は、連絡帳、面談時、モニタリング時、送迎時、LINEにて、実施していきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	10	4	2		ホームページにてブログ発信、出席ブックを活用して発信しています。今後の予定として、会報誌やリーフレットの発行を考えています。
	14	個人情報に十分注意しているか	33	3	0	0		個人ファイル等は鍵付き棚に保管しています。また引き出しの氏名記載は模様紙上に記載し、分かりにくくしています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	5	7	6	初めに説明されたように思います。	それぞれマニュアルを見直し作成しなおしています。作成後は室内に設置、簡略化したものを保護者の皆さんに配布していく予定です。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	14	8	2	・わからない。 ・よくわかりません。	訓練は1年に1回(11月)しています。消防の点検は随時行われています(入居マンションの点検も含む)。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	34	2	0	0	学校が終わってから直接(家に帰らず)通所しないと行くのが面倒になる。	ありがとうございます。今後も楽しく通ってもらえるよう、支援内容の工夫はもちろん、レッスン時間の組みかえ等柔軟な対応をしていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	36	0	0	0	行ってしまえば楽しく課題に取り組んでいます。	ありがとうございます。専門的な視点もとりいれ、たくさんフィードバックをしていきたいと考えています。今後も真摯に、ていねいに支援を行っていきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。